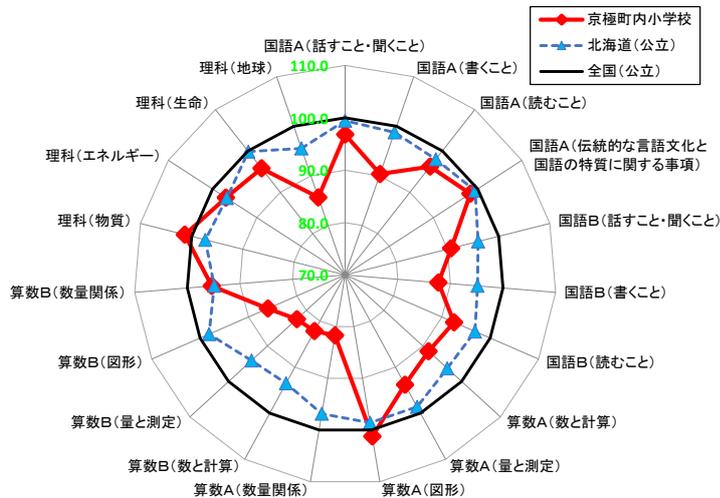


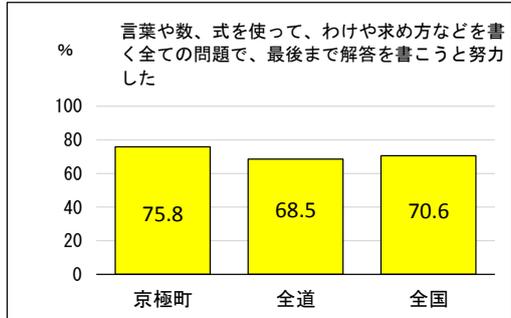
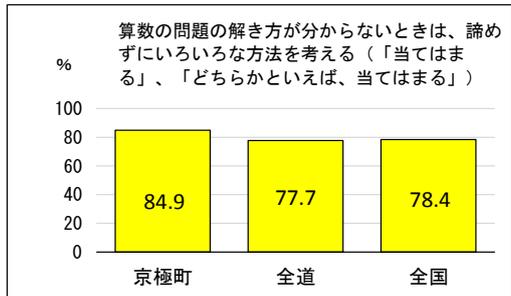
■京極町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:33人)

【教科全体の状況】

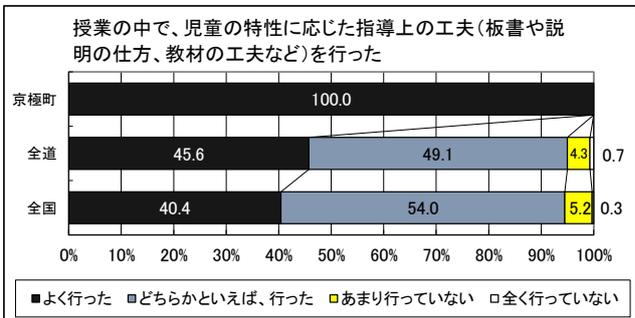
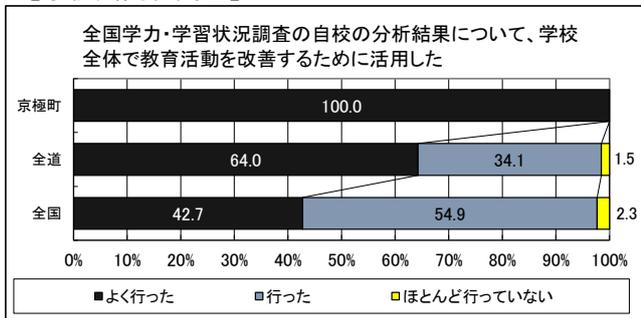
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|---|--|
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは、「図形」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物質」で全国を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用したことにより、授業改善が図られ、算数Aの「図形」で全国を上回ったと考えられる。 |
| 児童質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と回答した児童の割合が全国を上回っている。 ○ 「言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く全ての問題で、最後まで解答を書こうと努力した」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫を行ったことにより、「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」、「言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く全ての問題で、最後まで解答を書こうと努力した」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。 |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した。 ○ 授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行った。 | |

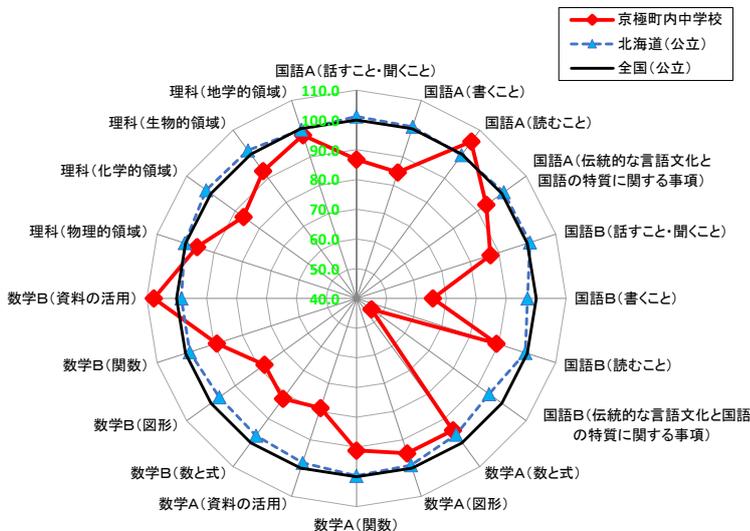
【京極町の学力向上策】

- ◎ 義務教育9年間を見通した学力向上のため、小中連携協議会における合同研修会、研究授業の継続的な取組の充実
- ◎ 学習の手引「きょうごくのこども」・「京極版生活リズムチェックシート」等による家庭学習習慣の定着、生活習慣の改善を図る取組の充実
- ◎ ICTを活用し、児童の情報活用能力の向上及び児童に分かりやすい資料提示の工夫を図った授業改善

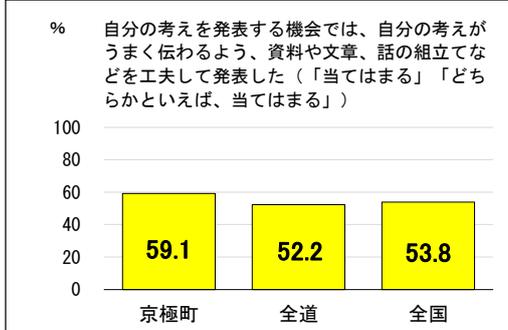
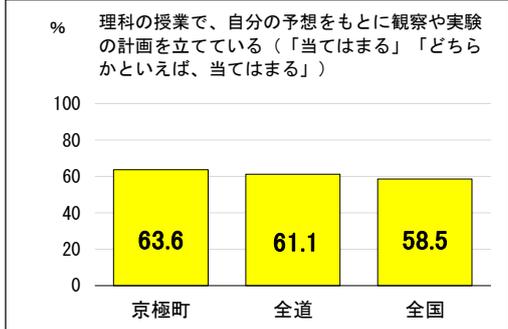
■京極町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:22人)

【教科全体の状況】

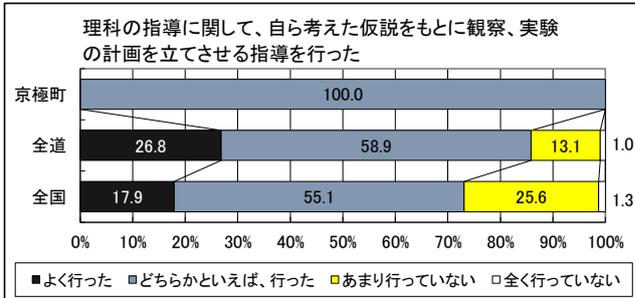
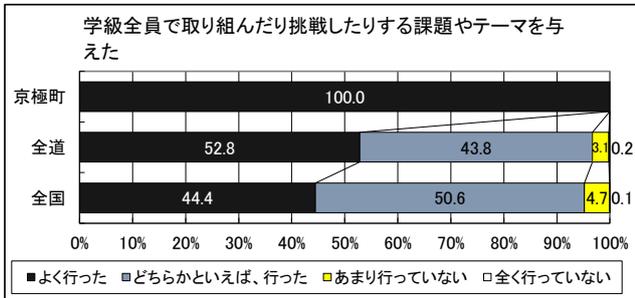
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

| 教科 | 分析内容 |
|-------|---|
| 国語 | ○ 国語Aでは、「読むこと」で全国を上回っている。 |
| 数学 | ○ 数学Bでは、「資料の活用」で全国を上回っている。 |
| 生徒質問紙 | ○ 「理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 |
| 学校質問紙 | ○ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた。 ○ 理科の指導に関して、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行った。 |
| 総合 | ○ 理科の指導に関して、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行ったことにより、「理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。 ○ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えたことにより、資料を活用しまとめたり、自分たちの考えを発表したりする活動の充実が図られ、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」と回答した生徒の割合が、全国を上回るとともに、数学Bの「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。 |

【京極町の学力向上策】

- ◎ 義務教育9年間を見通した学力向上のため、小中連携協議会における合同研修会、研究授業の継続的な取組の充実
- ◎ 学習の手引「きょうごくのこども」・「京極版生活リズムチェックシート」等による家庭学習習慣の定着、生活習慣の改善を図る取組の充実
- ◎ ICTを活用し、生徒の情報活用能力の向上及び児童に分かりやすい資料提示の工夫を図った授業改善